

株式会社 WOWOW プラス 番組審議会議事録 (2020 年 1 月 16 日開催分)

開催年月日： 2020 年 1 月 16 日(木) 11:00~13:00

開催場所： 株式会社 WOWOW プラス会議室

委員の出席： 番組審議員 4名

WOWOW プラス 8名

出席者

[審議員] 音好宏、富澤一誠、村上典吏子、湯浅正敏

(以上 50 音順、敬称略)

[放送事業者] 牧野力、郡司誠致、宮澤辰之、松田健吾、青木昭、

山下泰司、下原久美子、伊藤里沙(記)

- 議題： (1) 2019 年 10 月~12 月のシネフィル WOWOW に対する視聴者からの問い合わせや指摘・意見について
(2) シネフィル WOWOW の番組内容、編成内容に関する審議

報告事項： 2019 年 10 月~12 月におけるシネフィル WOWOW に対する視聴者からの問い合わせや指摘・意見について、当社編成制作局長より、その件数や代表的な内容といった概要説明を行った。

審議事項： [審議番組] 『マイマイ新子』と“探検隊”の十年

<番組概要>

毎月、日本を代表する名作アニメーションを 1~2 本ピックアップし、解説や制作スタッフのインタビューと共にオンエアするレギュラー企画「世界がふり向くアニメ術」。2019 年 12 月は、片渕須直監督のアニメ映画『マイマイ新子と千年の魔法』をピックアップ。

今回は特別版として、この作品を愛するファンたちが山口県・防府市の映画の舞台を訪ねて歩く「マイマイ新子探検隊」の様子と共に、製作陣とファンたちの間で公開後も育まれ続けてきた絆を描く、シネフィル WOWOW オリジナル特別番組を制作・放送します。

審議内容： ■審議員意見

- ・『マイマイ新子と千年の魔法』を観ていない人もこの作品を観たくなるような番組に仕上がっていると思う。実際に行ってみないと分からないその土地の空気感を片渕須直監督がアニメで再現しており、参加者もそれを実感しているのが伝わってくる。このようなイベン

トや番組を通じて映画が再評価されることは製作者冥利に尽きると
思うので、今後も続けて欲しい。

- 映画も監督も知らずに観ると最初は「何の番組だろう」と疑問を感じるが、観終わった後には映画を観なければならない気持ちになった。良い映画も情報を知らないとその良さが伝わってこないが、単に情報を流すだけでなく、これだけ多くのファンに長い間愛されてきたと見せることで説得力を持つ。新しい名画を発掘する紹介番組としてこのような手法は面白い。
- 映画を知らずに番組だけを観ると分からないが、映画本編を観ると参加者の大人たちが目を輝かせていた意味が伝わってくるので、番組内にもう少し本編の紹介映像があっても良かったのではないか。聖地巡礼の映像だけでなく、実際のロケ地をどのようにアニメーション化したのかつながらるような映像があると、本編とも連動してより映えたと思う。

■ 審議員長総評

- 映画やアニメというソフトパワーを借りたシティプロモーションとして盛んなロケ地紹介は、日本映画に限らず幾らでもシリーズ化できるものだし、本編を観ていない人でも惹きつけられる映像の魅力があるので、今後も番組として継続して欲しい。

連絡事項： 次回番組審議会は、2020年4月16日（木）11：00開催予定。

以上